

今回は、3年生に自分たちのまわりで「頑張っている人・感謝したい人」などを見つけてもらいました。提出には初めてタブレットを使ってみました。2学期が始まって約1ヶ月。3年生は周囲の友達を見てどんなことを考えたのでしょうか。

【3年のみんなについて】

○ 僕は最近少しずつ勉強をしていて「大変だなー」と思います。それを3年間ずっとやり続けてきた人たちは、すごいなと思います。才能だと思います。

【学級委員の人たちについて】

○ 私がすごいなと思っている人は学級委員の人たちです。このコロナウィルスで大変な時期でも、毎日朝の会と帰りの会をしてくれてすごいなと思っています。仕事だからといって簡単に毎日継続できることでは無いと思います。これからは自分もクラスやみんなの役に立てるように努力していきたいです。

【隣に座った人について】

○ 尊敬する人は、最初の頃は明るすぎて苦手な人でした。自分には近寄りがたくて無理な感じでした。

ある日、席が隣になって、最悪な気持ちになったのですが、見ているアニメが同じで、話しかけてくれるようになりました。そのとき私は、この人はいろいろな人と話せてすごいなと思い、自分もそんな人になりたいと尊敬するようになりました。私も、そんなふういろいろな人に話しかけることができる性格になりたいと思いました。

【Aさんについて】

○ Aさんが勉強を頑張っていて、僕も頑張ろうと思った。

【Bさんについて】

○ Bさんは、いつも数学の時間などで自分が分からないときに色々教えてくれて助かってます。しかも、教え方がとても上手で、家でたまに復習するときに分からなかった問題が分かるようになったので、とてもうれしいです。

【Cさんについて】

○ Cさんは、夏休みが終わったときに、整理と対策をものすごく進めていて、塾とか他の勉強もあるのにすごいと思った。自分がお盆とかでダラダラしている間も勉強していたんだなと思うと、自分ももっと頑張らなきゃと思った。

【Dさんについて】

○ Dさんは、僕が係の仕事で授業の用意が分からないときに、優しく教えてくれたので、本当に助かりました。

僕もDさんのような優しい人になりたいと思いました。



今回の3年生の書いた内容を見て感じたのは、「友達のよいところを見つけることは、自分を成長させることにつながる」ということです。

どういうことかという、友達のよいところを見つけて、「この人はすごいなあ」と思うことで、「私もこんなふうになれるといいな」と思う。そしてその人を目標に「こんなふうになれるように頑張ろう」と思うことができるようになるということです。

相手の欠点ばかりを見つめ、互いに悪口を言い合う人間関係の中では、人は成長することが難しいのかもしれませんが、どうすれば、互いに高め合う関係をつくることができるのか。その答えの一つが、この3年生の書いた文章の中にあると思います。